

## クラスの様子【10月号】

●ひよこ組 今月の目標 園庭や散歩・外気浴で、秋の自然に触れる事を楽しむ。

9月から、ひよこ組でも『小さい子グループ』『大きい子グループ』に分かれて、朝の集まりを始めました。自分の写真の貼ってある場所に座り、名前を呼ばれて返事をしたり、歌や手遊び等をお友だちと一緒にしています。毎日積み重ねていく中で、少しずつ、次に何をするか見通しを持って動く事が出来るようになってきました。そのような姿を見ていると子ども達の育っていく力を感じます。中には、名前を呼ぶとお休みのお友だちの写真を指さして保育士に伝えに来る子もいました。これからは、子ども達の姿に合わせて活動を考えていきたいと思います。先月は、気温差や夏の疲れもあって体調を崩してしまう子がいました。園でも換気や手洗いを心掛け、今後も体調面には十分に気を付けていきたいと思います。10月から、あおばちゃんが仲間入りします。よろしくお願いします。(伊達)



●りす組(もも) 今月の目標 曲げたり、伸ばしたり、走ったりと全身を使った遊びを楽しむ。

朝晩は涼しくなり、すっかり秋になりました。お散歩に出掛ける時は自分の靴を持って来て一生懸命にはこうとする子ども達。お友だちの姿を見て、刺激を受け真似する子たちも出てきました。“あ。出来た!!”やってみると自分も出来て嬉しそうにする子もいます。こうやって育ち合える関係はいいなと思います。子ども達の出来る力を信じ、見守りながら今月も過ごしていきたいと思います。またお部屋では運動会に向けてのダンスを楽しみながら練習してきました。当日は親子で楽しんでいただけたらと思います。(後藤)



●りす組(いちご) 今月の目標 戸外遊びや散歩などを通して秋の自然に触れ、十分に身体を動かして遊ぶ。

9月に入り、お散歩に出掛けたり、園庭で遊んだりと戸外遊びを楽しんできました。体力もついてきたようで、自分の力で、自分のペースで歩いたり、友達と手を繋いだりして歩くようにもなりました。また、言葉も増え「○○おった」「○○あった」など虫や実などを見つけては、観察したり、教え合ったりしています。散歩では、毎回違った生き物などを探したりすることも楽しみなようです。また、言葉も増えてきましたが、自分の思いも通したいという時期でもあり、友達同士のトラブルも多いですが、同じ年齢の中でだからこそ体験できる人間関係を作るトレーニングだと思っています。子ども達の思いを大切に受け止めながら、温かく見守っていききたいと思います。(澤井)



●赤うさぎ組 今月の目標 秋の自然を感じながら戸外でたくさん身体を動かして遊ぶ。

トンボやどんぐりなど、秋を感じられるものをたくさん見かけるようになり様々な発見を友だちと話したり、楽しみながら戸外で遊んでいます。運動会の練習ではルールのある遊びの難しさを感じながらもみんなで一緒に嬉しそうに取り組んでいました。また、室内でも子ども達同士で集まって遊ぶ姿が増え少しずつ「集団」を意識出来るようになってきたことを感じます。友達と一緒に遊ぶ楽しさや面白さを感じたり、また発見したもののやその時感じた思いを話したり、「友達と一緒に過ごす喜び」をたくさん知ってほしいと思います。(田中)



## クラスの様子【10月号】

●白うさぎ組 **今月の目標** 秋の自然を感じながら戸外でたくさん身体を動かして遊ぶ。

少しずつ気候も涼しくなり、秋の陽気を感じられるようになりました。お外でも過ごしやすくなり、天気の良い日は散歩に出掛けたり、戸外で好きな遊びを見つけて遊んでいます。散歩先では、むつくりまさんの遊びをしたり、とんぼやどんぐりを見つけ、「とんぼ飛んでるよ」、「どんぐり落ちてるよ」と友達同士で声を掛け合いながら楽しんでいます。周りの人との関わりが増えてきた中で、友達や保育士と様々な出来事を共有し、笑顔がたくさん見られるようになりました。時には、気持ちがぶつかり合うこともあります。子ども達一人一人の気持ちを受け止め、友達との関わり方を丁寧に伝えていきたいと思っています。(三浦)



●とちのき組 **今月の目標** 秋の自然に触れながら、身体を動かしたり、自然物を使った遊びを楽しむ。

9月は様々な製作をしました。グループごとに製作をする中で、年少児・年中児は年長児が作っている姿をみて、自分もしてみようとしていたり、教え合いながら楽しく作る様子も見られました。ハサミやのりを繰り返し使う中で、使い方も上手になり、自分なりに表現できるようになってきています。運動会の練習では、4月から取り組んでいる“植物リレー”を競技に取り入れ、楽しんで身体を動かすことができています。これから秋の植物をたくさん探しにいき、自然に触れていきたいと思っています。(平塚)



●くぬぎ組 **今月の目標** 秋の自然に触れ、発見を楽しみながら身近な環境に自ら関わる。

過ごしやすい季節がやってきました。秋は「運動会」と大きなイベントもあり、子ども達は期待を高めながら練習に参加し、プログラム製作に取り組むことができました。今回くぬぎ組のプログラムの表紙は「描く、切る、貼る」と3つの工程を経て完成しました。絵を描くこと、ハサミを使うこと、のりを使って貼ること…とそれぞれに得意・不得意はありますが、時間をかけながらも子ども達は真剣に取り組む、出来る事は自分で、難しい所は友達や保育士に手伝ってもらいながら進めてきて、個性のあふれた作品となりました。春に描いたお母さん、お父さんの似顔絵と比べて、皆とても上手になっていて成長を感じました。普段の生活の中でも、製作コーナーで年上の子が描く絵をよく見たりと、異年齢保育では沢山の刺激を受けています。これからも子ども同士で助け合い、学び合っていけるといいなと思います。(坂)



●さくら組 **今月の目標** 身近な秋の自然に触れながら、季節の移りかわりに気付き、様々な自然事象に興味関心を持つ。

いつの間にか園庭に響いていたセミの音が聞こえなくなり、だんだんと秋に近づいてきました。運動会に向けての活動では、雨で練習ができない日も多かったですが、天気のいい日は元気に練習に取り組みました。かけっこやリレーではみんなで走ることを楽しみ、自由時間にも友だちに呼びかけ意欲的に取り組む姿が見られました。こうした経験を通してクラスの友だちとの繋がりを広げ、喜びを共有する楽しさを感じていって欲しいと思います。ライオン組はお泊まり保育や合同参拝などたくさんの行事がありました。お泊まり保育ではみんなでお風呂に入ったり、夜のお散歩にいたり、みんなと一緒に寝たりと普段体験することが出来ないようなことばかりで貴重な体験であり、心に残る思い出になったと思います。(真里亜)

